

# 政務活動費のあり方検討会記録

1 日 時 令和6年2月14日（水曜日）

開 会 午後1時12分

閉 会 午後1時39分

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員 13人

座 長 押 田 大 祐

副 座 長 織 田 伸 一

委 員 飯 山 勝 彦

// 田 辺 裕 三

// 吉 田 修

// 岡 部 享

// 江 西 照 康

// 大 島 満

// 谷 口 寿 一

// 成 田 光 雄

// 橋 本 雅 雄

// 松 井 桂 将

// 鋪 田 博 紀

#### 4 職務のために出席した者

##### 【議会事務局】

議会事務局長	渡辺 康裕
議会事務局次長	大野 満
庶務課長	山下 達也
庶務課主幹（課長代理）	中山 崇
庶務課庶務係長	竹端 志織
庶務課主査	竹下 哲矢

## 5 協議結果について

### 1 クレジットカードについて

自由民主党のクレジットカードに関する提案については、まだクレジットカードを利用していない会派の委員から、実際に今年度から利用している議員の状況を把握したり、少人数で行く視察などに利用してみた上で、改善点がある場合に改めて検討したいといった意見があり、意見の一致は見られなかった。

## 6 会議の概要

座長                    それでは、ただいまから政務活動費のあり方検討会を開会いたします。  
本日の議事録の署名委員に、江西委員、鋪田委員を指名いたします。  
これより協議事項に入ります。  
本日の協議事項は、お手元に配付のとおりであります。  
本日は、前回の検討会に引き続き、クレジットカードに関する提案について改めて各会派の御意見を伺い、検討会としての結論を出したいと思っております。  
まず、提案者の自由民主党さん、前回の協議を踏まえ、何か御意見等ございましたら、御発言をお願いいたします。

江西委員              前はクレジットカードを使うことについてのメリット、例えば実際に料金が安くなるとか、また、そもそも現在ICT化を進めていく中で、クレジットカードの利用イコールインターネット、インターネットを使う場合はクレジットカードで精算する必要があるものですから、そこからひもづけた形でチケットレスが使えると。また、旅行代理店を経由して切符を取った場合には手数料がかかる、もしくは旅行代理店が無料奉仕をするといったことがあるので、現状では、ほかのお客さんたちで窓口が混雑しているところに、領収書を発行してもらうために切符を買いに行くと、この規約を守るために、あえてそういったことをしなければならないということがある。ただし、新規にクレジットカードを発行して、それ専用であればできるという対応策があるのではないかという議論があったわけですが、クレジットカードそのものを1枚作るということは個人の借入れを起こすことと全く同じで、要は借入れ枠の設定になるということ。  
また、年会費無料のクレジットカードもありますけれども、これはクレジットカードの営業的なものにも便乗したものでありまして、それでもうけよう

としているところにこれを使う、めったに使わない政務活動費の精算に使うということは、本来的なクレジットカードの処理ではないので、よくないのではないかと思うわけであります。

そう思っておりましたら、やはり最後に岡部委員の質問で、こういったメリットがあるにもかかわらず、皆さんがクレジットカードを使っているのかというと、実際のところ、私どもの会派の2名と気魄の1名の3名だけしかこういった制度を利用していなかったということです。会派ほか皆さん全員、クレジットカードにはこういった対応策があるけれども、使えない対応策であるということから、一度その面も踏まえた上で再考いただきたいということが前回の趣旨であります。

以上です。

座長

次に、各会派の御意見を伺います。

マルかバツか三角かが分かるように御発言ください。まず、富山市議会自由民主党さんお願いします。

鋪田委員

再考せよということでしたので再考させていただきました。

個人カードであれ、専用カードにするにしろ、新たに作るとすれば与信枠の問題はどちらしても同じことだと考えています。

ただ、江西委員が言われた点でなるほどなと思ったのが、うちはたまたま会派の人数がかなり多いので、旅行会社が取扱いを普通にやってくれるものですから、必要がなくて使っていないだけなのですが、新たに専用カードを作るときに、年会費は基本的にかかるものだと考えていくと、無料のカードにこだわる必要はないのかなと。

その点は改善してもいいと思いますが、それ以外については現行どおり進めていいのではないかと考えます。

以上です。

座長

続いて、公明党さん。

松井委員 前回は申し上げましたけれども、実際、うちも使っていないのは事実なので、今使っておられる方の状況を見た上で判断できればと。クレジットカードの導入は今現在やっているの、実際に使われた方の分を拝見した上で、もうちょっと考えさせていただきたいなという部分がありますので、どちらかということ、検討段階ということで三角。

座長 続きまして、立憲民主市民の会さん。

岡部委員 前回もお話ししましたが、問題となっていたのはやはりポイントをどう管理するのかということだったと思うので、いろいろ考えてみたら、政務活動費の支出というのは分かるわけで、それに基づいた大体のポイントは分かるのではないかと。そういう意味では、ポイントの管理を会派でしっかりとすれば、ポイントがどう使われるかというのは大きな問題になってこないのではないかとはいっています。実際、何人かの一般市民の方にこういうことで今議論をしているのだと言ったら、支出が減るのはむしろいいのではないかとやはり言われました。ポイントはあまり使っていない人が多いというか、そういう方もいるようでありましてけれども、そういうことも含めて、あまりポイントにこだわる必要はないのかなというのが一般の皆さんの認識だったなと思いました。したがって、立憲民主市民の会としては、今は三角からマルにしてもいいかなという思いでございます。

座長 続きまして、会派誠政さん。

橋本委員 現在使っておられる方が3名ということは、何らかの改善が必要かなと思っております。提案者に賛同するものでございます。

座長 日本共産党さん。

吉田委員 この間、いろいろ議論を聞いていまして、先ほど岡

部委員も言われたけれども、我々もポイントの問題が引っかかっていたのですよね。そういう点では、社会通念上、ポイントがどうこうというのはそんなに大きな問題でもないし、全体としてクレジットカードはオーケーと合意ができているわけだから、専用カードというよりも、個人カードでもいいのではないかなど。通常のクレジットカードを利用するというので、うちも三角からマルにしたいと思います。

座長 今度は気魄さん。

谷口委員 そもそもこのクレジットカードの利用をお願いしたのは我が会派でありまして、今認めていただいて使っているわけですが、これを提案した理由に、クレジットカードを使ったほうが格安で買えるから使わせてくれということをお願いしています。にもかかわらず、まだ使っていない会派があること自体、僕はなぜ使わないのかなど思っております。その中で、今提案があったとおり、もし使いやすくなるのであれば個人カードも認めて、もっとクレジットカードを使っていくべきだと思っております。したがって、マルです。

座長 政策フォーラム32さん。

大島委員 結論はマルです。  
ポイントは優先的に政務活動費に使うべきであるということと、与信の問題ですが、月額報酬60万円ぐらいでクレジットカードの枠がもし与信で引っかかるような人がいれば、そもそもクレジットカードを持つべきではないという思いがございます。  
あと、ちょっと心配なのは、グループで行かれる場合に各個人でJRなどのチケットを取られると、同じ車両の席で予約できるのかどうか、余計な心配ですけれども、そういうふうに思っておりますが、マルです。

座長

今聞いておりますと、富山市議会自由民主党さんは、年会費は認めてもいいけれども基本的には現行どおり、つまりバツという判断で、公明党さんは、使っている方々の様子をもう少し見させていただきたい、検討を要するというところで三角、あとの会派の方々も三角からマルに移ったと思います。この検討会では全会一致が必要なのですけれども、ということであれば、この案件は採用しないことになると思いますが、異議がございましたら。

江西委員

今、皆さんの見解を教えてください、公明党さんはある程度見解が入っていたとは思いますが、富山市議会自由民主党さんと公明党さんの反対の見解がよく分からなかったわけです。現状、旅行代理店で手数料はかからないと言っているけれども、高い料金を払っている。なおかつ、クレジットカードを作る気がないから高い料金と同じサービスの安い料金を使う気はありませんよと。そもそも安いものを使う必要がないのだと、だから、クレジットカードを使わなくていいのだと。クレジットカードを作っていないのですから、現状からそういう判断をしていると受け取りますけれども、そういう考えであれば、それはそれで従わざるを得ませんが、そういうものなのではないでしょうか。どのように思っておられるのか、富山市議会自由民主党さんと公明党さんの意見を聞かせてください。

鋪田委員

私どももクレジットカードの使用を会派として全く検討していないわけではなくて、今ほど申しましたように、会派の事務的な利便性、先ほど座席の話もありましたけれども、今は旅行代理店に一括してお願いをすることがほとんどなのですが、各種の勉強会、研修会などがあつたときに、少人数で参加するケースも増えてくることを考えていくと、専用カードではありますけれども、せっかくクレジットカードを使えることにして、そこには賛同してきているので、クレジットカードの利用を否定するものではありません。



実際に検討する中で、専用カードの年間手数料の問題はちょっと課題かなということで、その分については変えてもいいのではないかと申し上げたもので、まるきり否定をしているということではありません。以上です。

座長 公明党さん。

松井委員 うちとしては、当然クレジットカードの使用については認めているわけですから、後も続けると。あと、専用カードとか個人カード、私としては、本来はどのカードを使ってもいいのかなと。会費を払わなければいけないクレジットカード、会費を払わないクレジットカードもありますけれども、会費を払うのであれば政務活動費から払うべきではないかなと思っていますし、要は、今使っていないというのは、検討というのは、今使われている方が3名いらっしゃるかと。うちとしても本当は使うべき—明らかに1回使えば年会費も取ってしまうわけですよ、その費用対効果を見れば。二の足を踏んでいると言われればそうですけれども、そういった意味も含めて、使われた方のそういう部分を見させていただきたいなという意味で、もう少し待ちたいということです。

江西委員 今、松井委員のお話を聞いたら、基本的に私どもの言っているとおりなので、マルという判断だと思うのですが、それでよろしいですか。

座長 ただ時間が欲しいと言っておられるけれども、それに関してはどうですか。

松井委員 会派としてもやはり検討をしましたし、実際にクレジットカードの導入を認めて、使える状況にあるということなので、うちとしてはそれを見た上で判断をさせていただければなということで、あえて今は三角という。マルに近い三角ですけれども。

谷口委員 今、私自身、クレジットカードを使わせていただいているのですが、クレジットカードを使っている自分の何を見たいのですか。

松井委員 費用対効果も当然のことながら、要は、全部クレジットカードでやるということは基本的にインターネットでやるわけですよ。ウェブ上で。

（「いろいろな使い方がありますがけれども」と発言する者あり）

松井委員 基本的にそういうふうに理解しているので、そういうことも含めて、そういう使い方をされる場合もあるとか、それは当然うちとしては参考になるわけです。どちらかといえば、そういった面での認識不足が多いのかもしれませんが、それも含めて、そういったことを見た上で判断したいという意味であります。

江西委員 谷口委員から、何を見たいのかということでしたが、見たいと言いながら何を見たいという論点もないわけですし、要は、今分からないから納得できないよという意見なのかなと思ったのです。  
鋪田委員は、認めているけれどもそれでいいと、会費については払ってもいいという話をしましたけれども、要は安くやっていこうとか、ICT化に乗ろうという気は毛頭ないという判断—実際に一人も使っていないわけですから、現状を変えようという気持ち、会派の中でこれから全員に専用クレジットカードを作らせるのだということがあれば別ですけども、これからもJRを定価で使い続けるつもりでいるし、チケットレスにするつもりもないと思っておられるということかどうか、それだけ聞かせください。私たちと世代がちょっと違うのかもしれませんが、考え方の。それはそれで受け入れなければいけないかなと思いますけれども、論点をしっかりと答えないでやり過ごすことだけはやめてください。

鋪田委員 論点に答えないとおっしゃっておられますが、答えているわけで、ただ、我々も導入するに当たって、今、一例としては年会費の問題については改善する余地があるだろうと考えているわけなので、毛頭利用する気がないと断定されることは全く心外であります。  
以上です。

江西委員 年会費が無料か有料かというのは、それは別に私たちは文句があるわけではないわけですし、年会費が無料でなければ駄目だということで年会費無料のクレジットカードを探してうちはやったわけです。そうではないものもあるのかもしれませんが。要は、ICT化をしたい、料金を安くしたいということをおっしゃっているけれども、今は支障があって、うちの会派の中では2人しか使えていないのでそれを改善してほしいということなのですから、それについてどう考えるのか。その論点、チケットレスを使うつもりはない、今までどおり旅行代理店に頼んで、それなりの高い値段でICT化をするつもりもないと、それをするメリットはないと考えておられるということなのですか。そのメリットについてどう思うのか。メリットが行使できていないことについて。それだけ聞かせてください。

鋪田委員 行使できていないことについてどう思われるかと言われても、数字を見れば、当然、一定程度メリットがあることは理解します。  
ただ我々は、例えば領収書の件でも利便性を江西委員はおっしゃいましたけれども、会派として全体で視察などを行うときの手配の利便性などを考えて、さっきも言いましたけれども、今のところは旅行会社が対応してくれているのでそうしていると。ただ、今後はその対応がなかなか難しいケースも出てくるでしょうし、それから、コロナも明けて様々な研修がある程度少人数でできるようになってきたので、やはりそういう意味でもクレジットカードの導入については我々も賛成しているのですから、毛頭

ICT化に反対するということではないです。  
ただ、導入するに当たっては、我が会派の課題としては、まず年会費の部分であると。江西委員のおっしゃるとおり、ある意味フリーライダー、キャンペーンに乗っかっているようなところがありますので、そこに依存するのはよろしくないだろうと申し上げたわけです。  
以上です。

江西委員 今の私の折り返しの中では、領収書の対応が窓口の混雑を招くことについてはあえて外したのですけれども、その回答が今あったわけです。そのところは旅行代理店でクリアされているのですけれども、要はチケットレスといったサービス、それと、料金が安いというか、割引のない料金を払っているし、実際に今もそれを続けておられるわけです。なおかつ、クレジットカードを誰一人作っていないということなので、できるようにしているではないかということは通用しませんが、そこまで言ってももう話は変わらないということだと思うので、これは座長にお任せします。

座長 それでは、ほかに何か御意見のある方はいらっしゃいませんか。

吉田委員 ちょっと僕の理解不足なのかもしれないけれども、今焦点になっているのは、いわゆる専用カードなのか、個人の今持っているカードを使ってもいいのかというのが一つの分岐点だよね。僕は、もうここまで議論を深めてきているわけだから、既存の個人のカードを使ってもオーケーにしたほうがいいのかという思いになったのです。  
それで、ポイントの問題が大きかったのだけれども、大島委員が言われたように、ポイントを使わないのではなくて、むしろ積極的に政務活動費で使えと。そのほうが少しでも安くなるわけだからね。そのあたりはどう考えるのか。ポイントは絶対に使ってはいけないのか、積極的に政務活動費にポイントを使

えというのか。

3つ目は、旅行代理店に依頼したら座席は続き番号で取れるよね。ところが一人一人で取ったら、3人で行く場合はばらばらになる可能性があるよね。

（「取れます」と発言する者あり）

吉田委員 それは大丈夫なのですね。技術的に大丈夫だったらそれでもいいと思います。それをちょっと心配していたのです。  
以上です。

座長 ほかにほ。

〔発言する者なし〕

座長 なければ、議論を一旦閉めます。  
今回の提案に関しては意見の一致は見られないと判断をさせていただきます。  
ですが、今聞いていますと、年会費は認めてもいいのではないかという意見がございました。これはもしかしてまとまっているのではないのかなと。全員マルなのか確認をさせてください。  
年会費は出してもいいと思っている会派の方は挙手をお願いします。政務活動費から出してもいいと思われる会派の方。

吉田委員 専用カードの場合ね。出してもいいのではないですか。専用カードを作った場合は。

（「専用カードというのは」と発言する者あり）

座長 現行は専用カードですから。  
専用カードの年会費を出してもいいという方。

〔賛成者挙手〕

座長 ということを見ると……。

自由民主党さんはどうですか。

江西委員 反対。自分のカードを使いたい。余計な支出はしなくていい。

座長 分かりました。ここでも意見が割れました。  
ということで、こちらも全会派の賛同が得られませんでしたので、採用しないこととさせていただきます。  
以上で、今年度、各会派から提案のありました運用指針上の課題の協議は全て終了いたしました。

大島委員 すみません、全く関係なくて、事務局にはもらい事故みたいなことで申し訳ないのですが、例えば委員会視察では皆さんにチケットを配っていて、クレジットカードで買ったときの削減額は相当な金額になるのですが、やはり江西委員があれだけ言われるのだから、議会事務局にもそういう話をしていただくことも大事なのではないのでしょうか。

座長 分かりました。  
ただし、大島委員、ここではないので。今は意見として受け取りましたので、ここに限らず、市及び、特に私たちが関わる議会事務局の委員会視察も積極的に有効なものという御提案ということで……

大島委員 同じ趣旨だと思って、すみません。もらい事故みたいな形になってしまって。

座長 これは議会事務局のほうでまた一つ宿題として受け取っておいてください。

岡部委員 クレジットカードの利用は全体として認めているわけで、問題は専用カードとしてそれぞれが持つのかどうかということになっている。もともとの発想はポイントがどうかみたいなことだったと私は記憶しているのですね。  
そういう意味では、現状、クレジットカードは認め

られていますよと。さらに言えば、各会派まちまちのやり方をしている。うちの会派はあまりクレジットカードが得意ではないものだから旅行会社に頼んだりしているわけで、今は実際にはしていませんけれども、2人分をクレジットカードで買って、それを利用するというやり方もできるのではないかなと。それで少し安くなると。

谷口委員      それこそ指針を見てもらったら分かりますが、視察の旅費に関しては1人のカードで2人分買ってもいいということになっています。

岡部委員      そうでしょう。

谷口委員      だから、何の問題もないと思います。

岡部委員      だから、そういうことも利用できるのではないかなと。そういう意味では、専用カードでなくても、例えば会派で、うちは3人会派ですから3人で行くときに、一々切符は取りに行かなければならないかもしれないけれども、インターネットで申し込んだら2,000円とか安くなるケースがあるわけで、そういう形で、いわゆる政務活動費の減額といえますか、税金の使い方にプラスになるのではないかと。現状でもクレジットカードが使えるわけですから、全会一致でないと決まらないと言っても、そういうところはやはり少し前に進めてもらいたいなとは思っています。  
議論が違いますか。

座長            一旦閉める前に言っていただければよかったですけれども。

岡部委員      分かりました。すみません。

座長            でも、そういう意見があるということも踏まえて、これだけ議論が白熱しましたし、歩み寄りの部分もあったと思いますし、反対というか、三角の会派も

含めて、これから使うことを想定して今年度動かして、検証して、不備がないというか使いやすいように、次年度の改正に向けて、次年度は私がいるかどうか分かりませんが、また各会派に持ち帰っていただいて、今、岡部委員が言われた話にしても大島委員の話にしても議論を進めていただければなと思っております。

それでは、今年度の検討会の協議結果につきましては、私から議長に報告いたします。

その内容については座長に御一任いただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

座長

それでは、そのように決定いたします。

本当にこれで最後になりますが、ここまでで何か御意見はございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

座長

ないようですので、本日の協議は終了いたしました。これをもって、今年度の政務活動費のあり方検討会を閉会いたします。



令和6年2月14日  
政務活動費のあり方検討会記録署名

座長 押田大祐

署名委員 江西照康

署名委員 鋪田博紀